

特定健診の内容充実と受診料引き下げ等により、受診率向上に向けた取り組みの強化を



平成20年4月から国の方針により、疾病の早期発見が目的だった基本健康審査に替えて、メタボリックシンドロームに着目し、40歳から74歳までを対象とした特定健康審査（特定健診）の実施が各医療保険者に義務づけられた。

幕別町においても、健診内容の充実と受診率向上が第5期総合計画にも示されており、「健康で長生きしたい」という町民の願いに応えるものと考えているが、以下の点について伺う。

①平成19年度における基本健康審査実施者数と実施率
②今年度における現在までの特定健診の実施者数と実施率。および詳細健診項目の実施者数。
③幕別町は実施率の今年度の目標値を25%と引き上げているが、5月末時点において実施率17.2%であった昨年をも下回って経過している。実施率向上のための具体的な施策は。また国が示した基準により平成24年度に実施率65%を達成できなかった場合、国からのペナルティーの金額は。
④自治体ごとに独自に検査項目を加えて特定健診の充実をはかっている。町として今後検査項目を加えていく考えはあるか。また受診料金を安くして、受診しやすくする考えはあるか。
⑤十勝管内の自治体の多くが40歳未満を対象とした若年者健診を実施しているが、幕別町において今後実施する考えはあるか。

町長

①基本健診の受診者数は1,977人で、このうち、国民健康保険の被保険者は1,298人。実施率は、14.6%である。
②特定健診での国保加入者の受診者は274人、委託先の医療機関を合わせると344人で、率は5.8%である。詳細健診項目の実

太陽光発電や風力発電といった自然エネルギーの利用を



幕別町においては「幕別町地域新エネルギービジョン」によって、平成27年度までに二酸化炭素排出量を年間3900トン削減することを目標に新エネルギー化の取り組みを進めている。目標の達成のために太陽光発電システムの導入拡大や、風力発電施設の設置の可能性を積極的に追求すべきと考えているが以下の点について伺う。

①平成18年から実施されている住宅用太陽光発電システム導入補助事業の、年度

④本町では必須項目に加え、ヘモグロビン等の追加項目を実施している。
⑤費用対効果の観点から、国の基準に基づき40歳以上の方の受診率の向上に意を用いたい。

⑥本町では必須項目に加え、ヘモグロビン等の追加項目を実施している。

⑦幕別町地域新エネルギービジョンの目標達成状況は。

町長

①平成18年度は申請件数6件に対し4件の補助、1件当たり14万4千円、平成19年度は申請5件に対し4件に補助、1件当たり12万8千円である。
②平成18年度は1件220万円から510万円、平成19年度は174万円から309万円となっている。
③本年度の申請状況や町の財政状況などから、拡大については考えていない。
④平成18年度に導入した4件のデータでは、7.3%の削減となっている。
⑤今後新たに施設を建設する際には、コスト試算等を行い検討したい。
⑥過去、風力発電の設置について調査した結果、風力発電には適さない地域であり、設置は難しい。
⑦目標年である平成27年度に二酸化炭素を約3,900トン削減する目標だが、現時点では約1,061トン、目標の約27%の削減と推計している。